



# おおみや

vol.149

2026/3/11

発行/大宮中学校 PTA

編集/広報部

印刷/株式会社五六堂印刷

## 60周年を迎えて

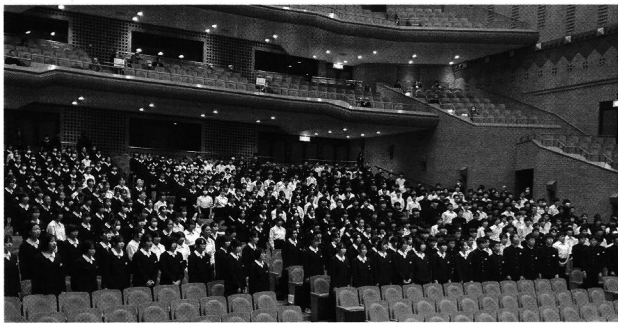


校長 廣澤 正紀

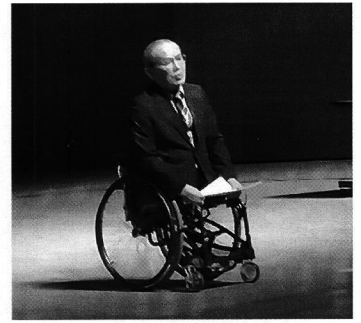
本校は今年、創立60周年という大きな節目を迎えることができました。これまで本校の教育活動を支え、歩みを重ねてこられた地域の皆様、PTAの皆様、そして多くの関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

記念行事では、西村さんのピアノコンサートと鈴木さんの講演会が行われました。ピアノの美しい音色は、言葉を超えて心に響き、改めて音楽の力、芸術の力を感じるひとときとなりました。また、鈴木さんの講演では、困難に向き合いながらも前向きに歩む姿勢や、人とのつながりの大切さについて、深い示唆をいただきました。

60年という歴史は、多くの人の思いと努力の積み重ねによって築かれてきました。その歩みを受け継ぎ、次の時代へとつないでいくのが、今の子どもたちです。今後も、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの成長を支えてまいります。次は10年、20年に向けた本校のさらなる発展を、引き続き温かく見守っていただければ幸いです。



ピアノ演奏 西村元希さん



記念講演 鈴木勝良さん

### 祝

## PTA表彰

#### 会員の部

理事2年以上、評議員を連続および断続的に3年以上務めた方

受賞おめでとうございます

■館澤 みゆきさん

令和6・7年度(2年間) PTA 監事

■小笠原 昌子さん

令和5・6・7年度(3年間) 学年会長

#### 生徒の部

中体連・中文連等主催(共催・後援)で全国大会以上の出場チームおよび個人、理事会で推薦された生徒

受賞おめでとうございます

■金子 遥軌安さん [3年5組・柔道]

第56回全国中学校柔道大会

■吉田 勇雅さん [3年1組・柔道]

第56回全国中学校柔道大会

■武藏 みづきさん [3年5組・柔道]

第56回全国中学校柔道大会

■松田 夏輝さん [3年1組・陸上]

第52回全日本中学校陸上競技手権大会

■小林 朔大さん [3年4組・アイスホッケー]

(共通女子砲丸投第7位)

■第46回全国中学校アイスホッケー大会

(岩手県選抜選手)

■町場 愛莉さん [1年3組・スキー]

第63回全国中学校スキー大会

(女子3km×4リレー第8位岩手県チーム)

# 志流祭 マリオス

## 響き合う言葉、重なる聲

3年2組 藤村 明穂

令和七年度志流祭スローガン「響きは、仲間と支え合い聲をかけ合う全校の姿を思い描き生まれました。大きな会場に負けない強く美しい歌声は、全校の心を繋ぎ、堂々と響きわたりました。終わった今も胸に残るあの聲を忘れません。共に志流祭をつくり上げてくださった皆さん、本当にありがとうございました。



## 志流祭を振り返って

1年1組 下平 航輝

僕は志流祭を振り返るとクラスが一致団結していたと思います。最初的时候は、意識が低く、不安でいっぱいでした。しかし、パートリーダーを中心に意識を高めることやよりよい合唱ができるように全員でがんばることができ、練習でもとても良い合唱をすることができました。そして迎えた当日には、これまでで一番良い最高の合唱ができました。

最優秀賞をとったときには全員でよろこび全員で成功させた志流祭だったなと感じました。



## 最優秀賞を取れたのは楽しくやれたから

2年5組 斗ヶ澤 治人

今年の志流祭を通して僕達は、楽しくやるというのは自然に真面目にやるということに繋がっていき、気づきました。

練習を通して、最初は指示が通らず悩んでいた時期もありましたが、自然にクラスの明るいにぎやかな雰囲気魅了されて、気づけば自分も明るくなっていました。なので、志流祭当日もそんなには緊張しなかつたし、そのおかげで、堂々とした発表ができたのではないかと僕は思いました。



## 3年5組の「友」と

3年5組 菊池 展拓

「王座を取るんごよ」一見するとふざけているように見えるこの目標だが、これはクラス全員の思いを集めた言葉なのだ。この目標に、他の誰にも負けないという強い思いと、私たちがしさを全開に込め、「友々旅立ちの時」を歌った。あの瞬間は私たちにとってかけがえのないものとなった。「最優秀賞」その言葉を聞いたときの喜び、全員で成功させた志流祭だったなと感じた。



保護者の感想

壺 美智子

体育館の工事に伴い、今年の「志流祭」はマリオス大ホールで開催されました。生徒の皆さんにとっても、きつと忘れられない素敵な思い出になったことと思います。大きなステージで、クラスの皆さんが一つになり、緊張しながらも力強く、のびのびと歌う姿に大変感動いたしました。それぞれが練習に打ち込み、お互いを支え合いながら、ひとつの目標に向かって努力した経験は、これからのどんな場面でもきつと大きな力になることでしょう。また、ホールの優れた音響が歌う側にも聴く側にもその気持ちをさらに高め、非常に盛り上がった志流祭になったのではないのでしょうか。

今回、この行事を盛り上げるために、先生方や生徒会執行部、特設合唱部の皆さんが時間をかけて準備してくださったことが、当日の一生懸命な姿から伝わってきました。事前の練習や、当日の進行役としての活躍があったからこそ、この素晴らしい志流祭が成り立ったのだと思います。ありがとうございます。ございました。



1学年行事

SOSの出し方・受け止め方教室

10月31日に、1年生・保護者対象の講演が開催されました。未来の風せいわ病院理事長智田文徳氏をお招きして、第一部「今中学生に伝えたいこと」第二部「子供の悩みに気づき、支える」という内容でお話を頂きました。消えてしまいたいくらいつらくなった時の対処法として、感情をおならみしたいにちよつとずつ放つ方法、怒ったときの天津飯（10カウント数える、深呼吸、離れる）、本音で話ができる人の存在、人は苦しみの中で成長するなど、たとえを使いながらわかりやすく、ためになる内容でした。

第二部では、子供を支える親として、SOSにどう気づき、対処するかについて学ぶことができました。感想を紹介します。

- ・ 理性（ブレーキ）が出来上がるのは25歳ごろと聞き、とても驚きました。そうなる中学生ではスマホの利用など自分でコントロールできないと改めて思いました。
- ・ アルコール、ドラッグ以外にもゲーム、カフェイン、市販薬も依

存症となると知り、私たち大人ができることって何だろうと考えさせられました。

スマホ依存は大人も気をつけなければならぬ問題なので、他人事と思わず、デジタルデトックスの時間を作っていこうと思います。



2学年行事

職場体験

2年3組 後藤 理央

私の職場体験場所はもち吉盛岡店で、咲衣さんと二人で体験しました。体験では商品の陳列や袋詰め、接客などをしました。お客さんが自分が並べた商品を買ってくれたり、話ができるときはとてもうれしかったです。実際に体験してみてもやりがいを感じました。

これからは人と関わることを恐れず積極的に行動していきたいです。



2年2組 吉田 朔太郎

僕は職場体験でJAの出荷場に、同じ学級の上山夢叶くんといきました。そこはりんごを等級で分け、出荷する仕事をしていました。僕は箱に入ったりんごを等級で分け、運

ぶ仕事をしました。職場体験を通して僕は集団のなかで他人を気遣い、行動する大切さを学びました。これを生活の中でいかしていきたいです。



# 3学年行事

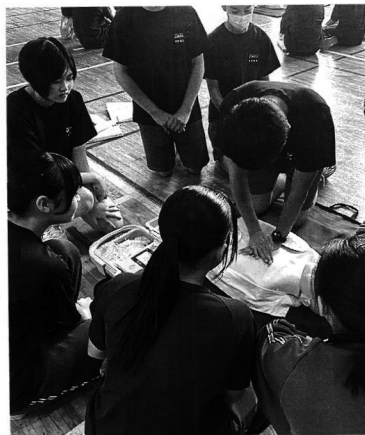
◆ 防災への第一歩



3年4組 田代 葉奈

私たち三学年は先日、復興学習を行いました。その中でAEDの使い方を通して、命を守る行動の大切さを学びました。また、新聞紙で作るスリッパづくりや身近な物を活用した簡易担架の作成にも挑戦し、災害時に役立つ知恵を実感しました。今回の学習を通して防災への意識が高

まり、災害への備えの重要性を改めて感じました。学んだことを日頃の備えに生かしていきたいと思えます。



# PTA活動

◆ PTA教養部

家庭教育学級講座

佐々木 志麻

10月23日、元・岩手めんこいテレビアナウンサーの落合昭彦先生を講師にお招きし、家庭教育学級講座を開催しました。

『SNS時代の言葉と伝わるコツ』マイクの前で心がけてきたこと』と題してご講演いただき、SNS時代に誰もが伝え手（発信者）になっているからこそ話し言葉で伝えることの基本に立ち返ってみるという内容について、対面で話すことの大切さや伝え方、言葉の使い方、発する言葉への気遣い等、とても大切に興味深いお話をユーモアを交えてお話しいただきました。講座開催にあたりご協力いただき、ありがとうございました。どうぞございました。



# PTA活動を振り返って

◆ PTA生活指導部

田澤 唯

生活指導部では子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう

う、挨拶運動と南イオン内防犯巡回活動を行いました。

挨拶運動では子供たちの表情や様子を見守る大切な機会になり、防犯活動はトラブルの未然防止に繋がる活動になったかと思えます。

今後も学校家庭地域が連携し子供たちが安心して生活できる環境を作っていければと思えました。

◆ PTA厚生部

吉野 育子

例年ですとスポレクの日のお手伝いをしていきますが、今年は体育館の工事の為にそれがなく、保健講話会の開催のお手伝いをさせていただきました。また、学校保健委員会出席など、活動を通して子ども達の心身の健康にあらためて意識を向ける機会を頂くことができ、有意義な活動であったと思えます。ありがとうございました。

― 編集後記 ―

今回は60周年行事など盛りだくさんな内容となっております。

年2回の発刊が無事に終わりました。関わっていただいた方々には感謝申し上げます。

PTA広報部長 千葉 祐美